

令和6年度第1回八戸警察署協議会

- 1 開催日時
令和6年6月28日(金)午後3時30分から午後5時10分まで
- 2 開催場所
八戸警察署4階会議室
- 3 出席者
 - 協議会委員 13人
中村光雄会長、正部家光彦副会長、小笠原出、佐々木隆治、下田尋通、武輪節子、外崎礼子、横濱英幸、富岡節子、藤田眞佐子、小川幸江、小澤一雅、上厚子
 - 警察署 15人
署長、副署長、刑事生活安全官、地域官、交通官、会計官、警務課長、留置官、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、事務局
- 4 開催内容
 - (1) 開会
 - (2) 自己紹介
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 警察署長挨拶
 - (5) 本年度の取組状況
 - ア 八戸警察署の概況等
 - イ 特殊詐欺対策の強化
 - ウ 交通死亡事故抑止対策の推進
 - エ 安全・安心を実感できる地域の実現に向けた街頭活動等の推進
 - (6) 意見、要望、質疑
 - 八戸警察署では、自殺者の統計はしているのか、またその公表はしているのか。
〔回答〕 警察署単位での発表はしていない。
 - 山中で警察に通報した場合、通報場所を特定できるのか。警察署に通報ではなく110番通報の方がよろしいのか。
〔回答〕 110番通報の方がよろしい。110番通報は、GPSで大体の通報場所が分かる。
 - 捜査よりも人命救助の方が大事であり、人命救助に関して若い警察官に指導することで、迅速な救命につなげる必要がある。
〔回答〕 AEDの使用方法など救急法の訓練をしており、今後も訓練を継続していく。
警察学校で救急法の教養を受けており、現場では装備資機材を活用した救助を行っている。
 - SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数1件は、八戸警察署で認知されたものか。
〔回答〕 八戸警察署で認知されたものである。
 - 児童虐待やストーカーから殺人に発展するものがあり、立証できないと泣き寝入りするものもあると思う。そういう未解決事件など、痛ましい事件は青森県では無くして欲しい。
〔回答〕 全ての法律を駆使して被害者を保護し、場合によっては犯人を逮捕して物理的に安全を確保する。また、相談を受けたら、安全が確認できるまで近況を確認している。

- (7) 能登半島地震への対応
 - ア 令和6年能登半島地震に伴う特別派遣
 - イ 特別派遣に出動した隊員からの生の声、出動時被災者に披露した「島守神楽」の演舞
- (8) 閉会

【開催状況】

